2022年度第4回 長期計画企画拡大会議　議事記録

日　　時：2023年1月25日（水）15:30～16:30
場　　所：Zoomによるオンライン開催
出 席 者：111名
欠 席 者：31名
当日資料：資料１　GL2.1進捗状況報告について
　　資料２　GL2.1アクションプラン進捗状況一覧

議　　事

(1) GL2.1進捗状況報告について

審議に先立ち、事務局より配信資料の確認、説明を行った。

(1) GL2.1進捗状況報告について

議長より、資料1に基づきGL2.1進捗状況の概要について説明があった。次に各検討専門委員会委員長より、主管するアクションプランについて、GL2.1で達成した項目、今後の要検討事項に焦点をあて報告があった。なお、上智大学に関するアカデミック・プラン等検討専門第1委員会、アカデミック・プラン等検討専門第2委員会、フィジカル・プラン等検討専門第1委員会、生涯学習検討専門委員会については、上智大学長より報告があった。また、委員会をもたない「イエズス会ならびにカトリック教育の理解と浸透」については、理事長より報告があった。

・アカデミック・プラン等検討専門第1委員会
・アカデミック・プラン等検討専門第2委員会
・フィジカル・プラン等検討専門第1委員会
・生涯学習検討専門委員会（以上、上智大学長）
・上智大学短期大学部検討専門委員会
・上智社会福祉専門学校検討専門委員会
・中等教育検討専門委員会
・イエズス会ならびにカトリック教育の理解と浸透（理事長）
・ガバナンス検討専門委員会
・人事計画等検討専門委員会
・財政計画等検討専門委員会
・フィジカル・プラン等検討専門第2委員会

主な質疑・意見は以下の通り。

・上智大学教学計画の今後の要検討事項に「志願者数の回復、とりわけ首都圏以外の地域からの出願数増加」とあるが、上智大学の推薦枠が多いために一般の受験者枠にしわ寄せがきているのではないか。大学が第一志望の学生を囲い込むということはわかるが、受験者数が減ると学校の評判が落ちるのではないかという懸念がある。今後の検討事項を精査する中で、推薦枠と一般受験枠のバランスの整理についても検討いただきたい。

・今後の要検討事項のひとつに「日本学術振興会特別研究員の申請・採択数増加」があがっている。多くの人が採択されるということが、大学院として、しっかり研究が行われ大学院生が育成されているというひとつの証左になると思うが、現状でどのくらいの申請があり、何人くらい採択されているのか、それを今後何年間でどの程度まで増やすこと目標としているか聞きたい。

・さきほどの学長のご発言に、今後も社会人の学びのために公開講座を復活させる方針という内容があったが、かつてのコミュニティ・カレッジとは異なる新しいタイプの生涯学習（リカレント教育的なもの）を再建されるという展望なのだろうか。おそらくプロフェッショナル・スタディーズの講座では、対象とされたターゲットが変わってきたと思うので、どのような展望や手ごたえがあったのか伺いたい。

・大学設置基準への対応ということで、主に基幹教員の話が出ていた。それはそれで大変重要なことだが、この度の改正では特例制度を設けたことが目玉になっている。上智大学にはしっかりとした内部質保証が出来ているという前提で、他の大学が考え付かないような、しかしこんなことができたら素晴らしいという提案をしていただきたい。特例制度の申請について検討していることがあれば伺いたい。

議長より、意見書の提出期限について説明があった。
次回の開催日程について以下のとおり案内があった。
・2023年3月22日（水）15時30分-16時30分　Zoomによるオンライン開催

以上